

# 近代蚕業史アーカイブ・モデルの構築

## —蚕業関連資料の保存と活用—

同志社大学人文科学研究所 嘱託研究員

倉知 桂子

### 要約

本研究は、近代日本の基幹産業であった蚕業に関するアーカイブ・モデルを構築することを目的とし、蚕業関連資料を調査することを通して、資料の保存整理と公開活用を進めるものである。

近代、明治期に開設された京都蚕業講習所の流れを組み、京都高等蚕業学校（のち京都高等蚕糸学校）と京都高等工芸学校を前身とする京都工芸繊維大学には、図書をはじめ、掛図や標本など高等教育のために収集された資料が残されている。そこで、京都工芸繊維大学の寄贈資料と貴重資料の調査を進め、論文と報告書をまとめ、蚕業関連資料のアーカイビングによる蚕糸資料ギャラリー開設やオンラインシンポジウム録画公開など、資料を活用する実践を展開した。

### 1. 研究の目的

本研究の目的は、近代の蚕業史に関するコレクションを形成し、アーカイブ・モデルを構築することにある。そこで、近代化を担う専門の人材を養成した高等教育機関の蚕業関連資料を調査し、それらを活用するためのケーススタディを行う。コレクションを形成し、展示および公開を前提とした分類整理を進めることにより、なによりまず資料の散逸を回避する。蚕糸・養蚕関連資料の保存整理と同時に公開活用を展開するための鍵として、アーカイビングを進めるものである。

### 2. 研究の展開と成果

#### 1) 蚕糸・養蚕関連資料調査

##### ① 寄贈資料について

京都工芸繊維大学嵯峨キャンパスに寄贈された蚕糸・養蚕関連資料の類型化および目録化が進められたことにより、資料の管理保存の根拠となり、これまで個人的に保管されてきた蚕糸・養蚕関連資料の廃棄を回避することができた。現在、嵯峨キャンパスに「蚕糸資料ギャラリー」の開設準備が進んでいる。

##### ② 貴重資料について

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパスの積層書庫および貴重書室の資料について、資料の記述化を進めた。特に、未登録資料の海外参考調査を通して、資料の稀少さを明らかにすることができ、その成果は以下の紀要論文に掲載（リポジトリ公開）されている。

一田昌利，長岡純治，倉知桂子，地村千里，齊藤有里加，首藤優子，秋野順治，イタリアから渡来し

た養蚕教材について、京都工芸繊維大学学術報告書、第13巻、2020.12、pp.1-13

### ③ 京都工芸繊維大学の「図書館」に関する調査

京都工芸繊維大学附属図書館に引き継がれた資料の経緯を把握するため、京都高等工芸学校の図書閲覧室と書庫、京都高等蚕業学校の図書館、大学の学部統合後の分館、美術工芸資料館設立までの流れを逐った。これにより、図書原簿や標本原簿の分類項目を確認し、資料種別、特に「標本」の変遷を逐うことができた。成果を以下の紀要に掲載、リポジトリ公開されている。

倉知桂子，並木誠士，京都工芸繊維大学附属図書館と美術工芸資料館の資料について — 京都蚕業講習所および京都高等工芸学校の「標本」教材 —，京都工芸繊維大学学術報告書、第13巻、2020.12、pp.45-76

## 2) 地域特性の把握

京都府丹波地方および丹後地方における蚕業の特性の把握に努めた。

## 3) 東京農工大学科学博物館との連携による資料調査

東京農工大学との連携による資料の比較調査をもとに、京都工芸繊維大学附属図書館主催オンラインシンポジウム「高等教育機関における視覚教材—蚕糸業教育における掛図」を実施した。

The poster is for a symposium titled "Pictorial Teaching Aids at the Institution of Higher Education — Tableaux at the sericulture education". It features a central illustration of a woman in traditional Japanese attire, possibly a silkworm rearing expert, surrounded by silkworms and related imagery. The text is organized into several sections:

- 講師 (Speakers):** Takeshi Yokoyama (Associate professor, Tokyo University of Agriculture and Technology), Masatoshi Ichida (Former Professor, Kyoto Institute of Technology), and Seishi Namiki (Professor, Kyoto Institute of Technology).
- プログラム (Program):** Includes an opening speech, case studies at Kyoto Institute of Technology and Tokyo University of Agriculture and Technology, sericultural materials (pre-modern and modern times), a discussion, and a closing speech.
- Web開催 (Web Event):** On-demand streaming in February 2021.
- お問い合わせ (Contact):** Provided by the Kyoto Institute of Technology library.

## 謝辞

本研究は日本科学協会の笹川研究助成を受け、実施したものです。蚕糸・養蚕関連の寄贈資料および貴重資料について専門的知見を賜りました京都工芸繊維大学元教授一田昌利先生、ギャラリー開設にご高配を賜りました教授秋野純治先生はじめ、多大なお力添えをいただきました皆様と同窓会に厚く御礼申し上げます。

本研究のご指導を賜りました京都工芸繊維大学教授美術工芸資料館館長並木誠士先生に、心より深謝申し上げます。